こたえ と 使い方（保護者向け）

このプリントでできること

- 1枚目は九九表です。壁に貼って、見ながら言ってよい時期に使えます。2枚目は空欄の九九表です。
- 3〜6枚目は、2〜9の段を2段ずつ、「あがり（×1から）」「さがり（×9から）」「ばらばら」の3通りで練習します。7枚目は、1の段の9問と、2〜9の段から3問ずつの24問です。

進め方

- 学校で習った段から、1回に1段、5〜10分を目安に使います。声に出しながら書くと、止まるところがわかります。
- 「ばらばら」で止まったら、「あがり」に戻って、その段を最初から言ってみます。九九表を見ながら答えても構いません。
- 7×8が出てこないときは、8×7から思い出せることもあります（かける順番を入れかえても答えは同じ）。
- 時間を計って急かしたり、間違いを叱ったりする必要はありません。

こたえ

- 2〜6枚目は、1枚目の九九表で確かめられます。7枚目は、問題と同じ並びで次のとおりです。

1のだん

1 × 7 = 7	1 × 6 = 6	1 × 8 = 8
1 × 3 = 3	1 × 2 = 2	1 × 1 = 1
1 × 9 = 9	1 × 5 = 5	1 × 4 = 4

いろいろな だん

4 × 3 = 12	7 × 4 = 28	7 × 6 = 42
9 × 9 = 81	4 × 2 = 8	5 × 2 = 10
5 × 9 = 45	6 × 1 = 6	6 × 8 = 48
2 × 2 = 4	2 × 8 = 16	8 × 8 = 64
3 × 9 = 27	4 × 7 = 28	7 × 9 = 63
6 × 2 = 12	8 × 3 = 24	3 × 7 = 21
9 × 2 = 18	8 × 2 = 16	5 × 3 = 15
2 × 4 = 8	9 × 3 = 27	3 × 8 = 24

学校で習うこととのつながり

- 小学校の学習指導要領は、2年生で「乗法の意味について理解し」、「乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること」を挙げています。

次に

- 九九の覚え方を家庭で（小2）：暗唱の前に「同じ数のまとまり」を見せる
- 算数で習うこと（年長〜小2）：2年生の「数と計算」の見通し
- 家庭学習の記録表：取り組んだ時間と子どもの様子を1週間記録

この教材は まなびほどき編集部が独自に作成したものです。市販教材の転載・言い換えではありません。学習効果を保証するものではなく、お子さんの能力を判定するものでもありません。